

---

【事後評価】 2. 農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業 堅田地区

---

《議長》 事後評価対象事業、2 番目、農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業、堅田地区について説明してください。

《農村基盤整備課》 農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業、堅田地区について説明します。農道事業は、農産物営農資機材等の輸送距離、輸送時間の短縮や大型車両による輸送効率の向上、農産物の荷傷み変形を防ぐなど品質の高い農業の促進と、地域の道路ネットワークの構築による利便性向上などの農村環境の改善などを目的として事業を行っています。堅田地区は、佐伯市市街地近郊に位置した旧佐伯市堅田青山地域と、旧蒲江町野々河内、丸市尾地域を受益とする農業地域です。本地域は資機材、農産物の輸送に佐伯市街を走る国道や県道を利用している状況にありました。しかし当時の国道等は、交通渋滞のため輸送に時間を要していました。また、受益地から農協まで大きく迂回するため、交通渋滞と合わせ、輸送に支障を来していました。そこで本農道を開設することにより、農産物の集出荷および資材の輸送の円滑化を図る計画をしました。

地区の概要についてです。路線延長は 1,856m、車道幅員 5.5m、全幅員 7m の 2 車線道路です。総事業費は 23 億 2,700 万円で、事業実施期間は平成 4 年度から平成 19 年度の 16 年間になります。堅田地区の事業については、当初、平成 13 年度に完了する予定だったのですが、6 年間、完了が遅れました。その理由としては、事業採択後の平成 4 年 8 月の台風 10 号により、終点側の集落の裏山が崩壊し、溪流河川で土石流が発生し、住宅が被災したことから、道路の新設により新たな土石流の発生や蓄積土砂の流出等の恐れがあるため、ルートの見直しを行いました。また、工事中に文化財が発見され、文化財調査に時間を要したため完了が遅れました。事業費の変動ですが、ルートの見直しと合わせて道路の位置、走行性にかかる勾配など、構造の見直しにより事業費が増加しています。完了後の利用状況です。農産物、農業生産資機材の運搬などのほか、起点は国道 10 号に通じる市道。終点は蒲江方面に通じる県道に接続していますので、市街地を迂回して蒲江方面へ行く車のバイパスとしても役割を果たし、市街地幹線道路の渋滞も緩和されています。水田では水稻、裏作で麦、ハウスでアスパラ、ニラ等野菜。また、旧蒲江町ではミカンを生産しています。また、本農道終点では受益地内の上城、下城、川原地区で、平成 18 年 9 月 19 日に農事組合法人「城村」が設立されました。集積面積は 20.5ha あり、米、麦、大豆などを主要作物とし、市場等へのお荷には、本農道が活用されています。周辺の農業用施設です。大分県農業佐伯豊南支店、ライスセンター、野菜集出荷場などがあります。

次に輸送経路です。農産物は各生産地区からライスセンターや野菜集出荷場へ集荷されます。その後、各出荷場から農協や市場へ輸送されています。また、受益と佐伯豊南農協が結ばれたため、ハウス資材や飼料や肥料など農業資機材の調達も容易になりました。

今まで説明しました堅田地区の事業効果のとりまとめです。輸送距離については、施設から市場へ輸送する際、通過する経路の比較ですが、本農道の開設により、今までの出荷経路に比べ 4.9 km の距離の短縮と交通渋滞を避けることができるため、速度の向上が図ら

れました。距離の短縮、速度の向上により、約 30 分の時間短縮が図られました。以上により、農業資機材の調達、および農産物の集出荷にかかる輸送が効率化しました。

また、波及効果として弥生方面から蒲江方面への一般車両のバイパスとなり、市街地幹線道路の渋滞が緩和されていることや、災害時の迂回路として使用できること。弥生方面から運動公園へのアクセス道路となっていることから、生活環境の向上が上げられます。

最後に対策方針案です。本農道の整備によって農業用資機材や農産物の集出荷の輸送時間の短縮が図られていることや、地域の道路ネットワークが構築され、物流の円滑化と生活環境の改善に寄与しており、地域の農産物輸送の効率化と一般交通の利便性向上の目的を達成しているため、事業評価の完了としたいと考えています。以上で終わります。

《議長》 ありがとうございます。それではご意見をお願いいたします。

《委員》 先日、現地を見させていただきましたが、この農免道路をよく利用させていただいて、佐伯から蒲江に非常に便利がよくなったと思います。現地でも、交通量が非常に増えたということをお聞きしたのですが、農業従事者の方のために作られた道路が、一般交通流によって妨げられてないかというか、非常に自動車交通に寄与しているのはわかるのですが、本来の目的である農業従事者の方にとってほんとうにどうだったのか、そういう声があったらお伺いしたいと思います。

《農村基盤整備課》 農道には、市町村間をつなぐような大規模な広域農道と、市町村の中でバイパス的に使われる以前に農免農道と言っていたクラスの農道、それと営農に直結し圃場のすぐ中を通るなど道路沿いが農地である道路の大きく 3 つのランクがあります。

このうち、圃場の中を通るような、あるいは農地沿いである農道については確かに一般交通の流入が計画よりも多く入ってくると、農耕車両の走行等に支障が出ることが考えられますが、堅田地区の農道については、農協と受益地の間。受益地も集出荷場とかに一次輸送されたものを今度、大型トラック等で運ぶかたちでの受益になっていますので、この一般車両が増えることによる農耕車両等への影響というのは発生していません。

《委員》 農事組合が 18 年に設立されているようですが、農道の開設に伴って設立が促されたのか、道路だけではなく、いろいろ今の農村が抱える問題がいろいろありますから、そういうのも加味しての話だと思うのですが。受益面積が 20.5ha とありますが、農事法人の持つ面積は、周辺の農地に対してのどのぐらいの割合なのか。

《農村基盤整備課》 今回の農免農道自体の受益地は、佐伯市蒲江方面に向かう青山地区で、水田の面積、受益は 300ha です。お手元にお配りしている事後評価書の最初のページの中程に事業内容がありますが、受益面積は全てトータルで 405ha。そのうち水田が 317ha で、農事法人の 20ha も含んだすべての面積です。農事組合法人が営農している 20ha は、すべて水田で、この 317ha の一部です。大分県の場合、高齢化等で担い手、後継者がいないという中で、集落営農を推進してきています。城村という地域は、丁度、トンネルを出たところの蒲江側のすぐ降りた、この農道が行き着いた終点のすぐ正面に広がる農地が

20haほど広がっているのですが、そこについてもこの農道を作ることによって、営農上の利便性等も向上して、農業をまた“やる気”といいますか、皆さんで真剣に農業に取り組もうということで任意組織を作り、さらに法人化までして、将来の高齢化等に対して担い手としてやっていこうということです。そして、今は20haなのですが、法人としての経営基盤がしっかりしていますので、今後周辺の農地を取り込みながら広がっていくだろうと思っています。

《委員》 モデルケースとしてのというか、そういう意味合いが強いと考えていいですかね。

《農村基盤整備課》 そうですね。この農道が無かったらできなかったのかなという、そこまで農道があったからというのは少し無理かと思いますが、それにしてもそういった法人が農業を続けていく、経営していくのに、当然、この農道が役に立っていると認識しています。

《委員》 その法人の構成というか、そこで作業を請け負う方たちは、こちらの方たちなのですか。

《農村基盤整備課》 法人の構成員自体は総人数28名。組合員です。その組合員が持っている自分の農地も当然ですが、周辺の農地も含んで、全体が20.5haとなっています。農事法人が経営するには、連担化と私たちはいいますが、要は農地がつながっていく。要は飛び飛びだったら、機械をまたあそこに運ばなくてはいけないという非効率が発生します。それでずっと一つのエリアを核として、それから周囲にポンと飛ぶのではなく、徐々にその面積が広がっていくと、そういうかたちでの法人の育成を進めています。

《委員》 そうではなくて、そこを動かす、実際に働く人たちは、請け負って。その方たちは地元の方たちなのですよ。

《農村基盤整備課》 そうです。地元の3つの集落があるのですが、その3つの集落の方たちで、その20haの中に自分の農地を持っている方々です。

《委員》 はい、わかりました。

《農村基盤整備課》 交通量については、完了後に調査しています。現地では、平成24年8月に調査した数字をお示しました。

《議長》 この作物の生産量の推移はどうなっていますか。

《農村基盤整備課》 水田では米、麦、大豆で、あと、畑作物としてアスパラガスとニラ、佐伯市の農協での出荷量の大部分が、この地域の受益の中で生産されています。そして生

産量は、アスパラガスとニラは、なかなか増える状況にはなっていません。今のところ、生産量は、ほぼ横ばいです。

《議長》 ほかにございませんか。

(一同なしの声)

《議長》 それではこの件につきましてお諮りをいたします。ただ今説明を受けました事業について、事業者が申しております対応方針案、評価の完了ということによろしいでしょうか。

(一同異議なしの声)

《議長》 ありがとうございます。では、この事業については、評価の完了として答申をいたします。